



# 大学生等による地域づくり支援事業

## —福島県湯川村堂畑地区での取り組み—

福大ゆがわ調査隊  
(福島大学行政政策学類  
岩崎ゼミ)

# 湯川村堂畑地区の概要

## 地区の概要(2018年3月現在)

- ・人口200人(男性99人、女性101人)
- ・世帯数46世帯
- ・高齢化率30.0%(湯川村全体の高齢化率と比べて1ポイント低くなっている。)
- ・全46世帯のうち、33戸が農家
- ・地区の課題として、若者、後継者不足、交通の便の悪さ、伝統行事の継承が挙げられる。

▼福島県地図



「会津のへそ」と言われ、  
会津盆地のほぼ中心に位置

# 今年度の活動

日時	活動内容
6月10日	堂畑活性化サロン・湯川村役場訪問
6月22日	ニコニコ学級
8月4～5日	堂畑活性化サロン・子供マルシェ
8月19～20日	湯川夏の市
9月1～2日	聞き取り調査・村民運動会
10月6～7日	新米祭り
10月27～28日	福島大学祭

---

## 2つの活動をピックアップ

○8月4～5日

➤ 第2回活性化サロン

「地域資源マップ作り」、

道の駅での「こどもマルシェ」

○10月27～28日

➤ 福大祭で「堂畑マルシェ」の開催

## 第2回堂畑活性化サロン 「地域資源マップ作り」 (2018/08/04)

### ◇活動概要

夏休みに合わせて堂畑地区の子どもたちと学生が交流を図った。

(内容)

- ・トイカメラを使った堂畑地区探索
- ・マップの作成
- ・マルシェに使うポップ作り
- ・夜ご飯のカレーライス作り
- ・花火



## 「こどもマルシェ」(18/08/05)

### ◇活動概要

「道の駅あいづ湯川・会津坂下」で、堂畑地区の子どもたちと大学生が中心となって堂畑地区で収穫した野菜の販売を行った。

### ◇ねらい

堂畑地区のお宝である

「子どもたち」×「豊かな野菜」を掛け合わせ、堂畑地区の新たな魅力の創出。

(当日の様子)

早朝に農家さんのお宅を回って野菜を収穫をしました。野菜の仕分け・袋詰めやポップづくりなど準備から子どもたちと一緒にいき、堂畑地区の野菜をPR・販売し、大盛況となりました！



# マルシェの準備

出品者の方から届いた野菜を袋詰めしたり、値段のシールを貼ったりしてマルシェに向けて準備を行った。  
また、野菜を取りに伺った際には収穫の体験をさせてもらった。



# 子どもマルシェ

道の駅にて子どもマルシェを開催した。  
子どもたちが積極的に販売や呼び込みを行ってくれたことで、売り上げは3万9300円となり、大盛況であった。

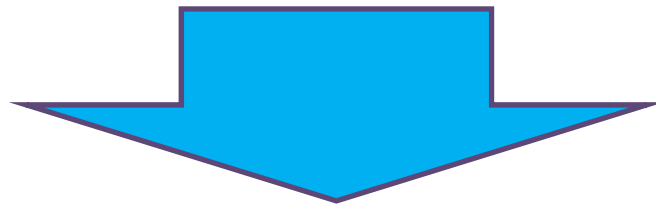




# 福大祭での「堂畑マルシェ」の出店①

## ◇活動の概要

堂畑地区の方から「福島大学に行ってマルシェをしたい！」という提案から、去年から堂畑マルシェを福大祭で出店。今年もこの活動を継続して行った。野菜提供農家の方々にも当日福島大学に来てもらい、一緒に販売・試食・呼び込みを行った。



生産者の方々が実際に野菜が売れている様子を見ることで、達成感につながり  
意欲の向上につながった。



# 福大祭での「堂畑マルシェ」出店②

## ◇良かった点

- ・新たに試食を行い、購買意欲を高められた。
- ・去年の反省点を活かし、事前に準備を行い、当日スムーズに進められた。



## ◇反省点

- ・野菜の品目に少し偏りが出てしまい、売れる野菜と売れない野菜の差ができてしまった。
- ・2日目に販売する野菜の保管方法が課題となった。

# 今年度の活動の成果

---

## 堂畑マルシェの成果

- ・住民の方の農業への意識が高まった
- ・住民の方同士や子どもたちの交流の創出
- ・リピーターの増加
- ・学生、子ども、住民の方々の交流の創出
- ・地区の魅力の発見

# 活動の課題

---

## 堂畑マルシェの課題

- ・住民が主体となった活動の組織化
- ・住民の方と学生とのさらなる連携
- ・参加者の固定化
- ・PR不足

# 今後の提案

---

## □ これまでの活動の発展

- ・マルシェの継続と発展

  - 定期的を開催し、PR活動を強化する

- ・堂畑活性化サロンの継続

  - 住民と学生、住民と住民の交流の場として活用する

- ・取り組み主体の組織づくり

  - 住民が主体となって活動する仕組みが必要

## □ 新しい取り組み

- ・料理教室の開催

- ・子供向けイベントの開催

- ・団体での道の駅出品

---

ご清聴ありがとうございました。